

# 生活支援コーディネーターだより



発行・編集：普代村社会福祉協議会  
生活支援コーディネーター  
令和7年12月No.31発行

## 地域支え合い活動

10月3日（金）糸NOKO倶楽部さんのご協力で、黒崎展望台に設置している踏み台のメンテナンスを行いました。令和5年の設置から2年が経過し、防腐剤の効果も薄れていますことから、今回改めて防腐剤の塗布作業を行いました。

黒崎展望台はみちのく潮験トレイルともつながっており、近年は外国からの来訪者も増えています。普代村を訪れる皆さまが気持ちよく過ごせるよう、これからも地域を支える活動を地道に続けていきたいと思います。



## 新たなボランティアさんに感謝

今回は、鳥居地区の黒畠国男さん（木材を切る作業）、上区の深渡 覚さん（数字を複写する作業等）のご協力で、屋外用モルックが完成しました。

構想から2年、お手伝いをしてくださる方を探していましたが、ようやく形にすることができました。急なお願いにも快く応えてくださいり、改めて人とのつながりに感謝しています。来年は、屋外でモルック交流活動を行いたいと思います。





## 認知症カフェ



## 孫世代のための認知症講座



11月27日（木）普代小学校において、4年生を対象とした「孫世代のための認知症講座」が開催され、認知症地域支援推進員として参加しました。本講座は、子どもたちが認知症について正しく理解し、身近な高齢者の方々へ温かい「思いやりの心」を持って接するきっかけを育むことを目的としています。講座では、まず認知症の基本的な知識を伝えるミニ講話を実施しました。続いて、認知症の方の症状や、接し方の具体的なヒントを伝えるための寸劇を披露。参加した児童から「認知症のお年寄りへの接し方が良く分かった」「もっと認知症について学びたいと思います」といった、前向きで心温まる感想が発表されました。

